

## これが民意だ！！ 25000人が国会を包囲 戦争法案反対国会前集会

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会がよびかけた「とめよう戦争法、集まろう国会へ。戦争させない・9条壊すな！総がかり行動 6・14戦争法案反対国会前集会」が、梅雨空のもと14日午後おこなわれました。

集会開会の午後2時にむけ、午前中から集まり始めた参加者は、続々と続き、ステージが置かれた国会正門前、憲政記念館前、国会図書館前、参議院議員会館前衆議院第2議員会館前、首相官邸前と国会の外周は二重三重四重五重に埋まりました。6月7日付「朝日」「東京」の意見広告を見たり、インターネット、NSNで呼びかけあうなどして、東京、首都圏はもとより、全国各地から参加した人たちの合計は2万5千人を記録しました。

集会では繰り返しコールがおこなわれ、呼びかけ人のあいさつ、政党代表の国会報告、連帯あいさつが行われました。

実行委員会・呼びかけ人は、佐高信さんの開会あいさつをはじめ、鳥越俊太郎さん、山口二郎さん、石坂啓さんらが発言、鎌田慧さんが閉会あいさつを行いました。

政党代表は民主党長妻昭代表代行、日本共産党志位和夫委員長、社民党吉田忠智党首が国会報告を行いました。

志位日本共産党委員長は、戦争法案のわずかな審議でも「後方支援」と称する軍事支援と戦闘行動、武器使用の問題、PKO法改定で、アフガンにISAFに参加したドイツ軍がこうむった多数の犠牲と同じことを自衛隊に強いるものであること、アメリカの先制攻撃にも集団的自衛権を発動して参加することになることなどが明らかになったと、わかりやすく報告しました。そして潮目が変わりつつある、戦後最悪の戦争法案はみんなの力で廃案に追い込もう、と呼びかけました。

この日の行動は、海外を含め多数のメディアが報道しました。

## 憲法共同センターが全国交流会 草の根の活動、共同の前進で廃案を確信

憲法共同センター（戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター）は14日、東京・千代田区星陵会館で昨年の改組・結成以来初めとなる全国交流集会を開催しました。

交流集会には39団体27都府県から120人が参加しました。集会では小田川義和全労連議長が開会あいさつを兼ねた報告をおこないました。そのなかで戦争法案について、政府与党が受身に立っており、廃案にする機会と条件が大きくひらけてきていること、また運動では、民主団体、労働組合の積極的な活動の推進とこの間の歴史的な共同の発展＝総がかり行動実行委員会の結成と

活動、5・3憲法集会の大成功＝の意義を強調しました。

国会情勢報告は日本共産党小池晃副委員長・参議院議員が行いました。小池議員はこの日の朝のNHK日曜討論に出演し、そこでの高村正彦自民党副総裁との論戦を紹介。高村氏が閣議決定には『集団的自衛権行使』の文言を入れていない」などと開き直る場面も再現し、世論の追い詰めが効いていることを協調しました。

討論では、参加者のうち19人が発言、活発な交流集会となりました。全国どこでも世論と運動が急速に高まり、運動の周辺、地域、職場の雰囲気が大きく変化してきていることが口々に報告され、世論の変化についての確信の共有と必ず廃案にとの決意が交流されました。

討論のまとめと閉会あいさつにたった平井正憲法会議事務局長は、同時刻にとりくまれていた「わかもの憲法集会」の盛況ぶりを紹介しました。戦争法案廃案めざすたたかいの主戦場は地域、職場であり、国会周辺の行動と相呼応した草の根の運動の推進で、国会、議員を包囲しようと呼びかけ、「生活スタイル」を変えて戦争法案阻止・廃案に向け一丸となって奮闘しようと呼びました。

交流集会は午後2時前に終了し、参加者は国会包囲行動に合流しました。

## 明日も座り込み

「**廃案!**」の声を東京で、全国各地・草の根で

16日(火)は座り込み第2日目 24日(水)まで

国会前(衆議院第2議員会館～参議院議員会館前)座り込み

10:00～17:00 集会(10時～、12時～、16時30分～)

---

## 近日発売!! 「憲法問題学習資料集⑥」

憲法会議

憲法会議は戦争法案阻止の運動にやくだててほしいと願い、昨年の閣議決定、安保法制懇報告、2つの戦争法案の概要など、学習に運動にすぐに役立つ資料を満載した「資料集」を近く出版します。

《予約・6月中のご注文には特典》

予約、6月中にご注文いただいた方には、予価1000円(本体価格)で提供(送料別、1冊から4冊までは86円)するなどの特典付です。

---